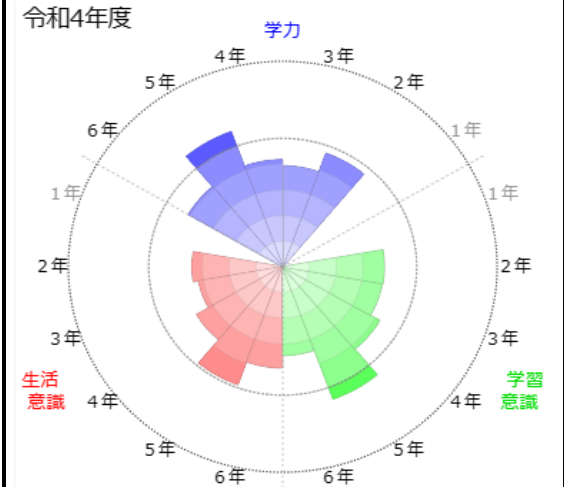


学力向上アクションプラン

| 重点取組分野 | 具体的取組 |
|--------------|--|
| 確かな学力 | ①学習形態を工夫し、主体的・対話的な学びのある授業を展開します。②振り返りの視点を示すことで自ら課題発見ができるようにし、学んだことを生活に生かす力をつけられるように指導します。③基礎的基本的な学力から確かな学力へとつながるよう指導します。 |
| 担当 | |

学力向上に関わる本校の状況

(1) 学力にかかわる児童の実態
 横浜市学力・学習状況調査の結果、学力、学習意識、生活意識が5年生(現6年)では高いが、その他の学年(現3~5年)については低くなっている。しかし、一昨年度と比較できる学年については、生活意識の向上が見られた。



(2) これまでの学校の取り組み状況
 ○「主体的・対話的で深い学び」のある授業を目指し、児童の実態や学年の系統性を考え、児童主体の授業づくりに努めた。
 ○40分授業制を継続し、児童が集中して学ぶことができるように年間指導計画に沿って指導した。
 ○教科担任制の取組では、授業の準備や指導計画を協力して行うことにより、児童がより専門的な指導を受けられるように改善を行うことができた。また、複数の目で児童の様子を見ることができた。

今年度の目標

- 学習形態を工夫し、様々な場面で子どもが自己表現できる授業を展開します。
- 自らの課題を捉え、次につながるよう振り返る時間を設け、解決できるよう支援します。
- 基礎的基本的な学力を身に付け、対話を通して確かな学力へとつながるよう学年に応じて指導します。

目標を実現するための具体的行動プラン

- | | |
|------------|--|
| 上半期 | <p>(1)「学習形態の工夫・自己表現できる授業の展開」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・重点研や学年研、教育課程部会の活動を通して、指導方法・指導技術などの共有を行い、主体的・対話的な授業を実践できるようにする。 ・教科担任制委員会の中で、各教科における指導の流れやポイント、指導技術などを共有し、より専門的な指導を行うことができるようにする。 ・教科担任制が計画的かつ効果的に実施できるよう、特別配当教室を工夫する。 ・40分授業制の効果が現れるように、年間指導計画を見直し、見直しをもって授業を行う。 <p>(2)「自らの課題を捉え、次につながるような振り返り」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・横浜市学力・学習状況調査を学年で分析し、課題を把握する。 ・課題を解決するための目標や具体的手立てを立て、実践する。定期的に教育課程部会を中心に実践報告を行うなどし、課題や手立て、効果などを確認する。 <p>(3)「基礎的基本的な学力・対話を通じた確かな学力」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学年間での情報共有を図り、系統性を考えた教材を考え、基礎的基本的な学力を育む。 |
| 下半期 | |